

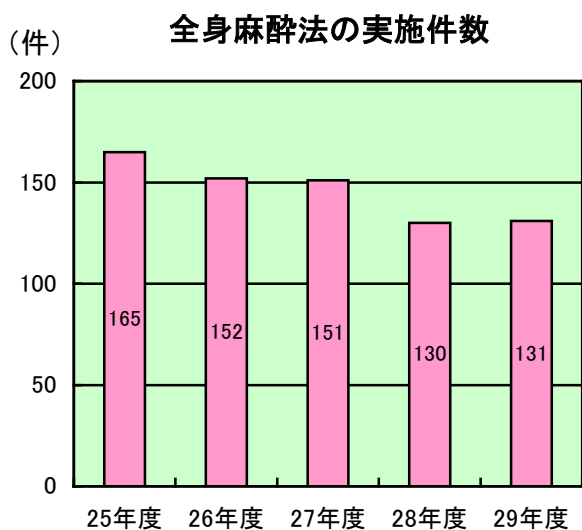
## 全身麻酔法で歯科診療が必要な患者さんをご紹介します

さまざまな疾患・障害があり、地域診療所で通常下での歯科治療が難しい患者さんに対して、当センターでは、日帰りの全身麻酔法を用いた歯科診療を実施しています。

### こんな患者さんはいらっしゃいませんか？

- 患者さんの不安・緊張が非常に強く、治療がなかなか進まない。
- 治療が必要な部位が多く、早期に治療を進めたい。
- 不随意運動がある、嘔吐反射が強い、など通常下での治療が難しい。
- 遠方から来院するため、来院回数をできるだけ少なくしたい。
- 循環器系などに疾患があり、歯科治療時に全身管理を行う必要がある。

全身麻酔法を用いることで、歯科医師は必要な治療を安全、確実に集中して行うことができます。術中は歯科麻酔医が患者さんの全身状態を常に管理しているため、合併症や偶発症への早期対応が可能です。



(平成29年度は30年2月末までの実数)

当センターで全身麻酔法での必要な治療が終了した患者さんは、原則として紹介元の地域歯科医院に返送しており、定期検診、予防指導・処置などの定期管理をお願いしています。

平成25年度に延べ165件実施した全身麻酔法は、29年度は131件に減少しています。

現在全身麻酔法の予約は、おおむね1ヶ月先に予約をとることができます。



私たちが担当しています  
(当センターの歯科麻酔医・看護師)

当センターでは常勤歯科麻酔医3名、看護師1名を中心に全身麻酔法に対応しています。

地域の歯科医院で全身麻酔法の適応と思われる患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

なお、地域の先生が当センターのスタッフや施設を利用して全身麻酔法、静脈内鎮静法を用いた治療を行う、**オープンシステム**も導入しています。ぜひご活用ください。

ご不明な点は当センターまでお気軽にお問い合わせください。

## 「平成 29 年度医療連携協力医研修会」が開催されました

平成 30 年 1 月 18 日（木曜日）午後 7 時から、当センター研修室で平成 29 年度医療連携協力医研修会が開催されました。



岡田 智雄 先生

今回の研修会は、日本歯科大学附属病院 総合診療科科長の岡田智雄先生を講師にお招きし、「対応に困る患者さんとの付き合い方 ～ストレスをためないで診療するために～」をテーマにご講演いただきました。当日は 31 名の方々が参加され、それぞれグループに分かれて、ワークショップ形式によるグループディスカッションを行いました。

研修会では、まず「対応が難しい患者さんと関連疾患」について岡田先生からご説明いただき、ついでグループ内で患者役と医療者役に分かれて、ロールプレイを行いました。

最初のうちはお互いに発言も少なめでしたが、ワークが進むにつれて自分の意見を積極的に出し合う姿がみられ、予定の時間を超えても討論を続けるグループもみられました。



ディスカッション中の様子



研修会の参加者

今回参加された方からは、「普段困っていることを、ロールプレイを通して対応が学べたのが良かった」、「患者さんの気持ちを考える良い機会になった」、「楽しく参加者と時間、悩みを共有できた」という感想が寄せられました。

### 「平成 30 年度 集団研修・個別研修・地域派遣研修」にご参加ください！

4 月より平成 30 年度の集団研修・個別研修・地域派遣研修を開催いたします。  
**3 月 1 日からお申し込み受付を開始**しました。（一部の研修会を除く）  
詳細は当センターホームページでご紹介しています。ぜひご覧のうえ、ご参加ください。

<http://www.tokyo-ohc.org/>

または

都立口腔

検索

申し込み・問い合わせ先：センター研修担当

「連携だより」に関する問い合わせ：東京都立心身障害者口腔保健センター・医療連携室  
TEL (03) 3235-1141 (代) / FAX (03) 3269-1213